



MDLP



はじめに

準備

ナビゲーション

DVD/CD/MP3/MD

ミュージックサーバー

音声操作

付録

Start Book

6.5型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/MD/CD/チューナー・
MP3対応・DSP HDD AVナビオートサーバー

AVIC - ZH25MD

タッチパネルタイプ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

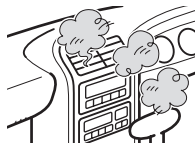
【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

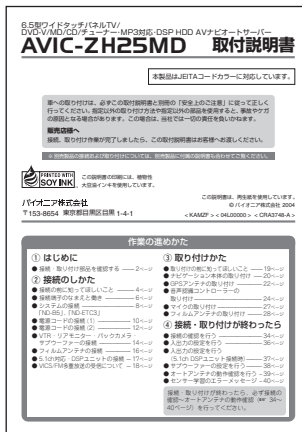


ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

説明書のご利用方法

取付説明書

取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



スタートブック (本書)

本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーションやオーディオの基本的な使いかたを説明しています。



ナビゲーションブック

ナビゲーションの機能を活用したいときにお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。










オーディオブック

DVDやオーディオ（CD/MP3ディスク/MD/ミュージックサーバー/FM/AM）、TV、VTRを活用したいときにお読みください。オーディオやDVD、TVの全機能の使いかたを知ることができます。オーディオやDVD、TVの操作辞典としてご利用ください。



本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチボタンを表します。 例：  にタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：  を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： → 「3Dハイブリッドセンサーについて」(22P)
	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

メモ

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
説明書のご利用方法	4
本書の見かた	6

はじめに

特長	10
ご使用前に知っておいていただきたいこと	13

準備

お使いになる前に	16
各部の名称とおもな動き	16
音声認識コントローラーに電池をセットする	19
タッチスイッチでの操作のしかた	20
画面の角度を調節する	20
電源の入れかた、切りかた	21
3Dハイブリッドセンサーについて	22

ナビゲーション

地図の見かたや操作を覚えよう	23
現在地を表示させる	23
地図の動かしかた	24
地図の縮小、拡大	26
地図の表示方法を変える	27
基本的な操作のしかた	30
自宅を登録しておこう	33
自宅にいるときは	33
自宅以外の場所にいるときは	34
行き先を決めてルートを案内させてみよう	35
スタートからゴールまでの流れ	35
行き先を設定してルートを案内させる	36
自宅に帰るルートを設定して案内させる	39

DVD/CD/MP3/MD

DVD/CD/MP3ディスク/MDの基本操作を覚えよう	40
DVD/CD/MP3ディスク/MDの再生のしかた	40

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーを理解しよう	46
ミュージックサーバーとは	46
ミュージックサーバーに録音する	47
録音した曲のタイトルを取得する	47
ミュージックサーバーを再生する	48
Q&A	50

音声操作

音声操作を覚えよう	51
音声操作の基本	51
音声で操作する	52

付録

PCカードの入れかた、出しかた	53
PCカードの入れかた	53
PCカードの出しかた	54
リセットのしかた	55
TVモニターの正しい使いかた	56
取り扱い上のご注意	56
液晶画面について	57
小型蛍光管について	57
お手入れについて	57
ディスクの正しい使いかた	58
取り扱い上のご注意	58
お手入れについて	58
保管上のご注意	59
ディスク再生の環境について	59
MDの正しい使いかた	60
使用できるMDについて	60
取り扱い上のご注意	60
ラベルについて	60
保管上のご注意	60
お手入れについて	61
寒いときの結露について	61
再生できるディスクの種類	62
DVDに表示されているマークの意味	64
ディスクの操作について	64
MP3ファイルについて	65
MP3とは？	65
再生できるMP3ファイルについて	65
故障かなと思ったら	67
共通項目	67
ナビゲーション	69
DVD	69
CD	70
MD	70
MP3ディスク	70
ミュージックサーバー	71
3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ	72
お客様登録とアフターサービス	74
仕様	77

特長

■高速化と高精度により、ナビゲーションの基本機能が大きく進化しました。

ハードディスクの採用により、高速処理を実現しました

ナビゲーション用の情報記録媒体としてハードディスクを採用することにより、高速処理が可能になりました。

測位精度専用のチップの搭載により、高精度なナビゲーションを実現します

自車位置を正確に測定できる測位精度専用チップを搭載することにより、高精度な測位を実現します。

3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーは坂道の登り降り（地面の傾斜）を感知します。したがって、立体交差や地図上で重なりあっている道路などを正確に判断でき、高さの情報は測位に反映されます。

サイズの異なるタイヤを自動認識します

サイズの異なるタイヤに交換すると、タイヤの外径変化を自動認識し、センサーの再学習を行います。

VICS(道路交通情報通信システム)の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに別売のVICS用ビーコンユニット「ND-B5」などを組み合わせれば、ビーコンによるVICS情報を受信することができます。

10mスケールまで地図を詳細に表示できます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。(→26P)

音声操作がさらに快適になりました

音声認識のスピードアップ、音声認識話者学習および音声で認識可能な言葉だけ抽出して認識するワードスポッティング技術による認識率の向上により、快適な音声操作ができるようになりました。(→51P)

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバーズビューやスカイシティマップ、シティハイウェイマップで、よりドライバーの走行感覚に近いリアルな表示ができます。(→27P)

ハードディスクに保存されている抜け道情報が抜け道をアドバイスします

ハードディスクに保存された抜け道情報がルート案内中にルートアドバイザーとして抜け道をアドバイスしてくれます。また、ルート案内をしていないときでも視覚で抜け道を確認できます。

住宅地の道路を探索し、ドア to ドア探索ができます

住宅地などの細い道路も探索できるため、自宅から目的地までのドア to ドア探索ができます。また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、容易に判別できます。

インターネットで取得した場所を目的地とすることができます

インターネットで取得した場所を検索し、目的地とすることができます。

ドライブプランナー機能がドライブ計画を手助けします

指定した出発日時、出発地、同行者、目的地などをもとにプランを作成すると、設定日時に自動でプランを実行し、ドライブ行程を管理します。

地図画面に表示されるロゴマークを編集することができます

地図画面に表示されるロゴマークを編集できます。地図データにない新しい店ができた場合や地図データにある店がなくなった場合などに使用します。

PCカードを使って、機能の拡張やデータの保存・交換ができます

PCカードを使うことにより、MP3ファイルを再生したり、デジタルカメラで撮影した画像を地図に貼り付けることができます。また、登録地などを保存したPCカードを、友人のHDDナビゲーションサーバーで利用することができます。(→53P)

■ナビゲーションと情報通信の融合

携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話が可能になります

携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーとマイクを使用して、運転中でもハンドルを握ったまま通話することができます。

車の中で気象情報を見ることができます

インターネットを利用すると、日本全国の気象情報を取り込んで、画面上で確認できます。目的地付近の気象情報をチェックしておけば、充実したドライブプランを立てられます。

車どうしで位置情報を交換できます(ポイントパーティー)

本機または通信ナビゲーション「AVIC-T1」を搭載した車どうしでパーティーを組み、お互いの位置情報を交換することができます。

■ナビゲーションとオーディオの融合

DVDビデオディスク、CD、MD、MP3ファイルを再生できます

DVDビデオディスクに収録された映画やライブビデオなどの映像/音声を再生できます。また、CDやMD、MP3ディスクも再生することができます。(→40P)

録音や再生ができます (ミュージックサーバー)

CDやMD、ラジオ、テレビなどの音声を録音し、再生することができます。自分の好きな曲だけ集めたり、編集することもできます。また、PCカード内のMP3ファイルも再生することもできます。(→46P)

CDの曲名などの情報を簡単に取得することができます

CDやミュージックサーバーに録音した曲のアーティスト名や曲名などの情報を、内蔵またはインターネットのデータベース、PCカード内のテキスト情報から簡単に取得して表示することができます。これらの情報から、ミュージックサーバーに録音した曲を簡単に探し出して聞くことができます。(→40P)

ヒットチャートプレイが楽しいドライブを演出します

ミュージックサーバーが過去のヒットチャート*をもとにプレイリストを作成し、ヒット曲を再生します。

※ヒットチャートはオリコンチャートをもとに作成されています。

CDの2倍速録音が可能になりました

ミュージックサーバーにCDを録音するとき、2倍速録音モードを選べるようになりました。

■ナビゲーションとスケジュール管理の融合

スケジュール管理ができます

指定した日時にルート探索や音楽の再生、メッセージ表示をすることはもちろん、車検の期限やオイル交換の時期も知らせてくれます。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

■ お使いになる地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

従来のDVD-ROMディスク（「DVDナビゲーションマップシリーズ」など）、CD-ROMディスク（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）は使用できません。

■ 現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自転車位置が大きくずれることがあります。故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自転車位置と現在地の誤差を補正する機能を備えているため、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、誤差が少なくなります。

■ 3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機をご使用になる場合、電源を入れると自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自転車位置が地図画面上でずれたり、止まったりすることがあります。初期学習が終了すると、高精度で自転車位置を測位することが可能になります。

■ 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、たいへん危険です。交通の状況や歩行者などに十分注意しながら運転してください。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては必ず実際の交通標識や案内掲示板などに従ってください。
- 本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 5.5m未満の道路（細街路）以外を走行中は、細街路を表示しません。

■ 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなる場合があります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り替えを車のヘッドライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

■ バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

■ 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

→ 『オーディオブック』、『画質調整』

■ 携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをディスプレイ部に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■ ディスプレイ部の液晶画面を保護するために

本機を使用しないときは、ディスプレイ部に直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

→ 『TVモニターの正しい使いかた』(56P)

■ 低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（登録地）、登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

■保証登録・アフターサービス

- 弊社からの本製品に関連する重要な連絡は「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、お近くの弊社サービスステーションへご相談ください。

■著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

■バージョンアップについて

- 本機をバージョンアップするには、内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。(バージョンアップは有償です)
- バージョンアップの作業中*は、ナビゲーション・MP3ディスク・ミュージックサーバーは使用できません。
※バージョンアップ作業は10日程度のお時間をいただきますが、お申し込みが集中した場合などは10日を越える場合があります。
- バージョンアップの詳細については、登録手続きを完了した方に案内いたします。必ず商品に同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送、またはインターネットからのご登録をお願いいたします。

■お客様の登録されたデータについて

- 本機のバージョンアップおよび修理において、お客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。
- PCカード「CNFC-16M」(別売)を利用すると、登録地点データ、登録道データ、ドライブスケジューラーデータ、車両メンテナンスデータ、ランドマークリライターデータを保管することができます。
- ミュージックサーバーに録音された音楽情報については著作権法上バックアップをおこなうことはできませんのでご了承ください。

■その他

- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 弊社からの連絡があった場合を除き、本製品のハードディスクを取り外さないでください。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

※本機は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。
認証番号：A02-0222JP

お使いになる前に

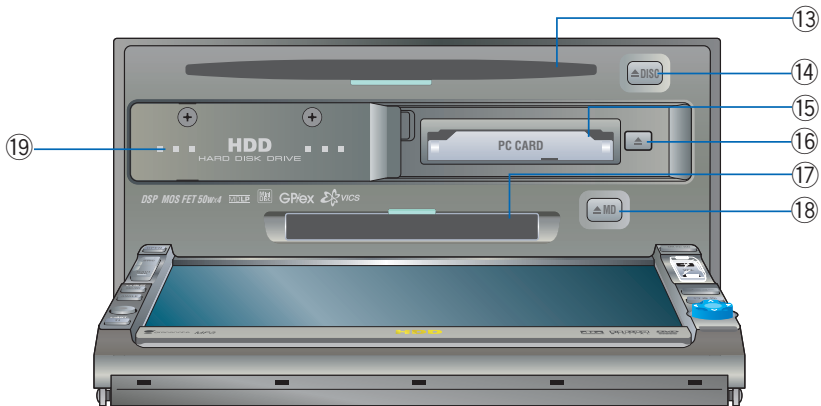
各部の名称とおもな働き

ナビゲーション本体

閉じている状態



開いている状態



① OPEN/CLOSEボタン

ディスプレイ部を開いたり、閉じたりするときに押します。

② SRC・NAVI/AVボタン

SRCボタンはソース（音源・映像）を切り替えたり、長く押すとソースをON/OFFします。

NAVI/AVボタンはナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。

③ 画面ボタン

画面表示モードを選択するときに押します。長く押すと[画質調整]画面を表示させます。

④ ANGLEボタン

車外からの光などで画面が見えにくいときに、画面の角度を調整できます。押すごとに1段階ずつ角度が傾き、押し続けると連続して傾きます。

⑤ リセットボタン

マイコンをリセットします。

⑥ HDD RECボタン

再生中の音声を録音します。

⑦ TIボタン

主要道路に設置してある交通情報を受信するときに押します。長く押すとオートアンテナをON/OFFします。

⑧ ▲/▼/◀/▶ボタン

曲の早送りや巻き戻し、FM/AM、TVのチャンネルを変えるときなどに使用します。

⑨ 行き先ボタン

ナビゲーション画面で目的地を表示するときなどに押します。

⑩ メニューボタン

ナビゲーション画面で設定を行うときなどに押します。

⑪ VOLUMEボタン

音量を大きくするときは+側を押します。小さくするときは-側を押します。

⑫ 現在地ボタン

ナビゲーション画面で現在地を表示させるときなどに押します。

⑬ ディスク挿入口

DVDやCDなどを挿入します。

⑭ ディスク取り出しボタン

DVDやCDなどを取り出すときに押します。

⑮ PCカード挿入口

PCMCIAタイプIIのPCカードを挿入します。

⑯ PCカード取り出しボタン

PCカードを取り出すときに押します。

⑰ MD挿入口

MDを挿入します。

⑱ MD取り出しボタン

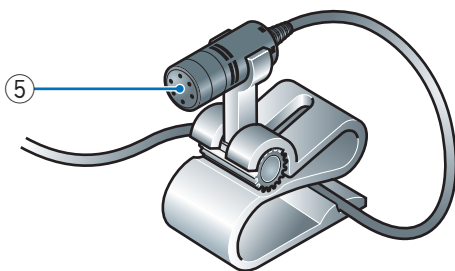
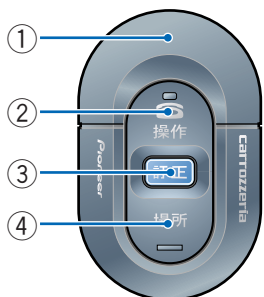
MDを取り出すときに押します。

⑲ ハードディスクカバー**ご注意**

ハードディスクカバーを開けしないでください。故障の原因となることがあります。

ハードディスクカバーを開けたことによるトラブルについては、保証いたしかねます。

■音声認識コントローラー/マイク



① 送信部

ここから音声認識コントローラーの信号が送られます。

② 操作ボタン

- ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。
- 携帯電話を接続しているとき、このボタンで電話をかけたり、かかってきた電話を受けられます。通話が終わったときに押すと電話が切れます。

③ 訂正ボタン

- 音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。
- 携帯電話を接続しているとき、このボタンを押すと、かかってきた電話を応答保留することができます。

④ 場所ボタン

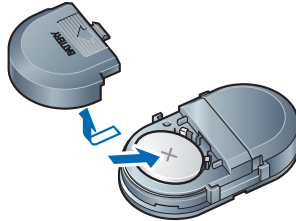
音声入力で場所を探したいときに押します。

⑤ マイク

[操作]、[場所] ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。電話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

音声認識コントローラーに電池をセットする

裏ボタンをはずして、リチウム電池（CR2032）を（+）側を上にしてセットします。



ご注意

- 音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

メモ

- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- 音声認識コントローラーからの信号が受け付けられなくなったときは、新しい電池と交換してください。

タッチスイッチでの操作のしかた

本機では16～17ページで説明したボタンと共に、画面上に表示されるタッチスイッチに軽くふれることにより操作を行います。



メモ

画面は傷つきやすいので必ず指で触れて操作してください。

タッチスイッチの再表示のしかた

テレビやVTR映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチスイッチは自動的に画面上から消えます。再表示するときは、画面にタッチします。

画面の角度を調節する

画面の角度を7段階に調整できます。車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくなるように調整してください。

1

ANGLE を押す

ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを押すごとに1段階ずつ傾いていきます。

ANGLE を押し続けると連続して傾いていき、離れたところで止まります。(7段階目になると自動的に止まります。)

傾きが7段階目のときにボタンを押すと、ディスプレイ部が閉じます。



手を触れないよう注意

- ディスプレイの角度を調節するときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
- 本機は、エンジンを切る（ACCをOFFにする）とディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

メモ

- ディスプレイ部を傾けた状態でも、**OPEN**を押すとディスプレイ部が開きます。ディスプレイ部を閉じると、傾いた状態に戻ります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に閉じます。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

電源の入れかた、切りかた

本機の電源は、車のエンジンをかけると自動的に入り、エンジンを切ると電源も切れます。

ご注意

本機をお使いなるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- ナビゲーションのみの電源を切ることはできません。
- 本機の電源を入れたままで画面のみを消すことができます。→『オーディオブック』、『画面を消す』
- 地図データは本機内蔵のハードディスクに収録されているため、ディスクを入れることなくナビゲーションをご使用できます。
- 3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまで、[ナビゲーションを起動します。よろしければ確認にタッチしてください。店頭展示モードで起動する場合には、店頭展示ボタンに2秒以上タッチしつづけてください。【注意】店頭展示モードでは、ルート設定をすると自動的にデモ走行が始まります。]とメッセージが表示されますので**確認**にタッチしてください。
→「3Dハイブリッドセンサーについて」(22P)
- 本機をオートアンテナ車に取り付けた場合は、本機の電源ONに連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、**π** ボタンを長く押しごとにON（上げる）とOFF（下げる）に切り替わります。
- オートアンテナ車以外では常にオートアンテナの設定をONにしておいてください。OFFに設定するとAM/FMラジオやVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

3Dハイブリッドセンサーについて

3Dハイブリッドセンサーは自転車位置を高精度に測位するための機能の一つです。初めてご使用になる場合は、本機の電源を入れた（エンジンをかけた）後に本機内蔵の3Dハイブリッドセンサーの初期学習が自動的に始まります。

→『ナビゲーションブック』、「ナビゲーションのしくみ」

メモ

本機の設置場所を変更した場合、未使用のセンサーメモリーに切り替えた場合は、センサー学習状態をリセットしてください。

→『ナビゲーションブック』、「センサー学習状態のリセットのしかた」

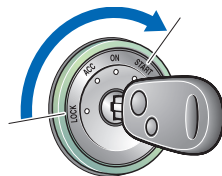
初期学習を開始させる

初期学習は、本機の取り付け後、初めて電源を入れたときに操作します。

1

本機の電源をONにする（エンジンをかける）

しばらくすると手順2の画面が表示されます。



2

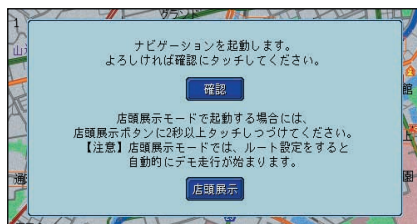
確認 にタッチする

走行を開始すると3Dハイブリッドセンサーの初期学習が自動的に始まります。3Dハイブリッドセンサーの初期学習には、しばらく時間がかかります。それまでの間はGPS衛星のみの測位となるため、地図画面上で自転車位置がずれたり止まったりすることがありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると、高精度で自転車位置を測位することが可能になります。

メモ

店頭展示モードは店頭でのデモンストレーション用のため、**店頭展示** はタッチしないでください。

エラーメッセージが表示されたときは、「3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ」(71P) を参照してください。



地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

現在地 を押すと、自車の現在地周辺の地図を表示します。
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

現在地画面

ノーマルビュー

現在の時刻
10:40

軌跡表示

抜け道表示
紫色に点滅して表示されます。

自車マーク
車の位置と進行方向を表します。

方位表示
赤い三角が北方向を示します。

現在地の地名
自車位置周辺の地名を示します。

VICISの情報提供時刻
100m

スケール表示
下の がスケールの距離を示します (2D表示のみ)。

現在地を表示させる

メモ

道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路および抜け道は表示されません。

地図の動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所をタッチして地図をスクロールします。

メモ

走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。

→『ナビゲーションブック』、「見たい場所まで地図を動かす」

1

画面にタッチする

カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

メモ

タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。



2

微調整 にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。

メモ

微調整 は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。



3

表示を調整する

矢印にタッチするごとに地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。

メモ

- スクロール終了後は、走行画面になると8方向矢印が消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 地図上には、いろいろな情報が表示されます。

→「スクロール画面」(次ページ)



スクロール画面

スクロール中



スクロール方面表示

地図のスケールを、10m～1kmにしている場合に表示されます。

スクロール停止



現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結んだ線。

十字カーソル

画面の中心に表示されます。

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

地図の動かしかた

地図の縮小、拡大

地図は10m～500kmスケールの15段階に縮小、拡大できます。

→『ナビゲーションブック』、「地図のスケールを変える」

1

スケール表示にタッチする

10m～1kmのスケールのボタンが表示されます。



2

【広域】または【詳細】にタッチする

【広域】：地図をより広く見たいとき

【詳細】：地図をより詳しく見たいとき

スケール表示の上にスケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。ボタンにタッチすることにより、スケールが変わります。

(例：10m ↔ 25m ↔ 50m ↔ 100m ↔ …)

メモ

- ボタンにタッチし続けると、スケールは段階的に変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 詳細市街地図収録エリアでは、地図のスケールが10m～50mスケールのときに詳細な市街地図で表示されます。

詳細市街地図収録エリアについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。



【詳細】にタッチする



【広域】にタッチする








スケールバー

現在のスケールを表示します。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。
地図の表示方法は、5種類あります。

	ノーマルビュー (2D表示)	通常の地図 (平面の地図) で表示されます。
	スカイビュー (3D表示)	上空から見ているような地図が表示されます。
	ドライバーズビュー (3D表示)	ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。 都市高速走行中はシティハイウェイマップになります。
	ツインビュー (2画面表示)	画面が左右に2分割され、左画面にはスカイビュー、 右画面にはノーマルビューで地図が表示されます。
	ハイウェイモード	有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

各表示方法について、詳しくは『ナビゲーションブック』、「地図の表示方法を変える」を参照してください。

- 1** 地図が表示されている状態で「方位表示マーク」にタッチすると、ビュー切り替えメニューが表示されます。



方位表示マーク

- 2** 表示方法を選んでタッチすると、選択した表示方法で地図が表示されます。

メモ

- ビュー切り替えメニューが表示されている間 (約8秒間) に選んでください。
- ドライバーズビューを選択しているときは、都市高速では自動的にシティハイウェイマップになります。
- ハイウェイモードは、有料道路走行時以外は選ぶことができません。



■表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます。（シティマップ）



スカイビュー

上空から見ているような地図が表示されます。



詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます。（スカイシティマップ）



ドライバーズビュー

ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。

信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。(一部表示されない場所もあります)

また、画面内にはノーマルビューの地図も表示されます。(ウィンドウマップ)



都市高速走行中は、リアルな地図表示、さらに役立つ有料道路の情報が表示されます (シティハイウェイマップ)。



ツインビュー

画面を左右に2分割表示し、広域地図を表示させながら自車位置周辺の詳細地図を表示させたい場合などに便利です。右画面にはノーマルビューで、左画面にはスカイビューで自車位置が表示されます。

左画面ではスクロール、回転、角度の変更などができます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離、料金、分岐方向などが表示されます。右側にはサイドマップとして地図が表示されます。



基本的な操作のしかた

メニューから項目を選んで実行する、これが操作の基本です。

ご注意

安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用するときは、スタートメニューを表示させます。

スタートメニューには、[行き先・場所]のメニューと、[情報・通信]、[編集・設定]のメニューがあります。

各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』、「スタートメニュー」を参照してください。

[行き先・場所] メニューの表示

行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

1

行き先 を押す

[行き先・場所] メニューが表示されます。

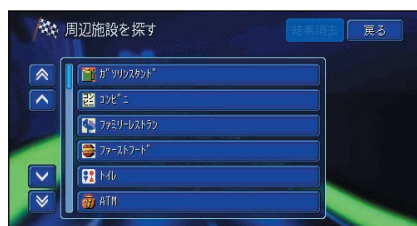


2

メニュー項目を選んでタッチする
選んだ項目を実行する画面が表示されます。

メモ

戻る にタッチすると、前の画面に戻ります。

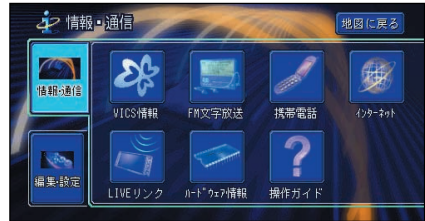


【情報・通信】メニューの表示

ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどを使用することができます。

1

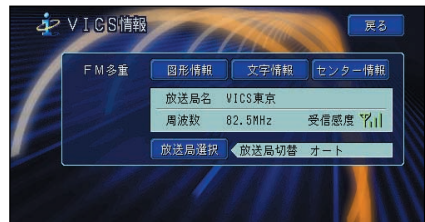
メニュー を押す
 【情報・通信】メニューが表示されます。



2

メニュー項目を選んでタッチする
 選んだ項目を実行する画面が表示されます。

メモ
戻る にタッチすると、前の画面に戻ります。



【編集・設定】メニューの表示

編集や各種設定を行うことができます。

1

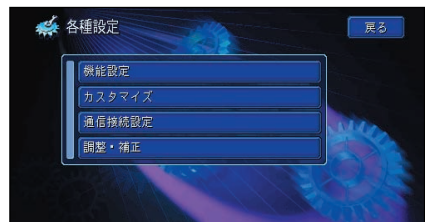
メニュー を押して **編集・設定** に
 タッチする
 【編集・設定】メニューが表示されます。



2

メニュー項目を選んでタッチする
 選んだ項目を実行する画面が表示されます。

メモ
戻る にタッチすると、前の画面に戻ります。



基本的な操作のしかた

■ショートカットメニューを表示させる

十字カーソル位置または現在地に対して、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして割り当てられています。

ショートカットメニューを使用すると、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。


1



にタッチする

その場所に対するショートカットメニューが表示されます。

メモ

- ショートカットメニューは現在地またはスクロールなど表示させた状態により、表示されない項目や選択できない項目があります。
-  にタッチすると、ショートカットメニューを閉じます。



自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

ご注意

安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

自宅にいるときは

メモ

地図画面上で自車マークが自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面にタッチして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。
→「地図の動かししかた」(24P)

1

行き先 を押す

「行き先・場所」メニューが表示されます。

2

自宅 にタッチする

自宅登録確認画面が表示されます。



3

はい にタッチする

自宅が登録されます。

自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』、「登録地の位置を変更する」を参照してください。



自宅以外の場所にいるときは

- 1** 地図をスクロールさせて、十字カーソルを自宅の位置に合わせる
→「地図の動かしかた」(24P)



- 2** **行き先** を押す
[行き先・場所] メニューが表示されます。

- 3** **自宅** にタッチする
自宅登録確認画面が表示されます。



- 4** **はい** にタッチする
十字カーソルの場所が自宅として登録されます。

- ショートカットメニューから自宅を登録したい場合は『ナビゲーションブック』、「探した場所を登録する」に従って場所を登録した後、「自宅に変更する」を参照して登録地を自宅に変更してください。
- 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』、「登録地の位置を変更する」を参照してください。



行き先を決めてルートを案内させてみよう

スタートからゴールまでの流れ

1 行き先を探しましょう

- こんなことができます
- ・地図から探す
 - ・行き先・場所メニューから探す
 - ・クイックルート探索

2 行き先までのルートを設定しましょう

こんなことができます

- ・回避エリアを考慮したルート探索
- ・渋滞を考慮したルート探索
- ・立寄地の追加
- ・乗り降りICの指定
- ・登録道の指定
- ・出発地の指定
- ・ルートプロフィール
- ・ルートスクロール

3 行き先までのルートを案内させましょう

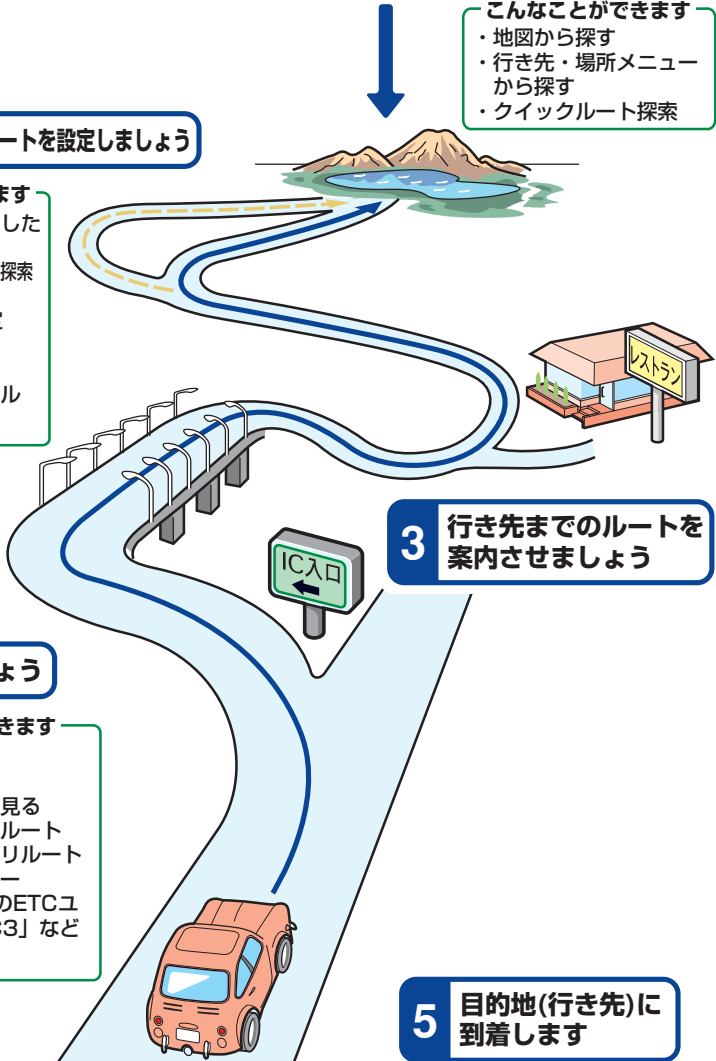
4 出発しましょう

こんなことができます

- ・再探索
- ・VICS情報を見る
- ・気象や季節情報を見る
- ・渋滞考慮オートリルート
- ・インテリジェントリルート
- ・ルートアドバイザー
- ・ETCの利用(別売のETCユニット「ND-ETC3」などが必要です)

5 目的地(行き先)に到着します

スタートからゴールまでの流れ



行き先を設定してルートを案内させる

行き先を地図上で探して簡単にルートを設定することができます（ルート探索）。

ルート探索が終了すると行き先までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

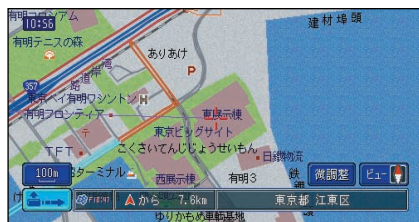
メモ

わかっている情報を手がかりに、メニューから行き先を探することもできます。

→『ナビゲーションブック』、「場所を探す」

1

地図をスクロールさせて十字カーソルを行き先に合わせる



2



(ショートカットメニュー)

から **目的地** にタッチする

行き先に旗マークが表示され、現在地から行き先までのルート探索が自動的に始まります。

メモ

- 十字カーソルが有料道路付近にある場合、目的地が有料道路上にあるかどうか確認する画面が表示されることがあります。
→『ナビゲーションブック』、「行き先までのルートを探索させる」
- 場所によってはルート探索ができない場合があります。目的地の位置を変えてください。



3

案内開始にタッチする**ルート確認** **他のルート** **詳細ルート**

の操作については、『ナビゲーションブック』、「ルートを確認する」、「他のルートを選ぶ」、「ルートの詳細に設定する」を参照してください。



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)



4

出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

■ルート案内中の画面

目的地まで案内するルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。



行き先を設定してルート案内させる

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶ直線で表されます。

現在地画面

交差点から離れると現在地画面に戻ります。

交差点に近づくと交差点案内画面に変わります。

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。

緑色で表示されたレーンが誘導レーンです。

交差点案内画面



次の案内地点の名称と、そこまでの距離、進行方向

ランドマーク
信号や目印になるお店などが表示されます。

ウィンドウマップ

ノーマルビューの地図が表示されます。

ドライバーズビュー

自宅に帰るルートを設定して案内させる

自宅が登録されている場合は、ワンタッチで自宅に帰るルートを設定することができます。ルート探索が終了すると自宅までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

1

行き先 を押す

[行き先・場所] メニューが表示されます。

2

自宅 にタッチする

自宅に帰る最も効率のよいルートが、自動的に1本だけ探索されます。

メモ

- 案内中のルートがあるときは、手順2のあとに **はい** にタッチします。
- 最も効率のよいルートは、登録地の探索条件、ルート探索基準、有料道路使用条件によって異なります。
→『ナビゲーションブック』、「登録地の探索条件を変更する」、「機能設定」

自宅までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)



自宅に帰るルートを設定して案内させる

3

出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。



自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

DVD/CD/MP3ディスク/MDの基本操作を覚えよう

本機はオーディオ機能を標準装備しており、DVDやCD、MP3ファイルが記録されたディスクおよびMDなどをお楽しみいただけます。

- 再生できるディスクの種類は、「再生できるディスクの種類」(62P)を参照してください。
- 再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(65P)を参照してください。
- 各機能の操作方法は『オーディオブック』、「DVDを見る」、「CDを聞く」、「MP3ディスクを聞く」、「MDを聞く」を参照してください。

DVD/CD/MP3ディスク/MDの再生のしかた

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開き、ディスク挿入口があらわれます。

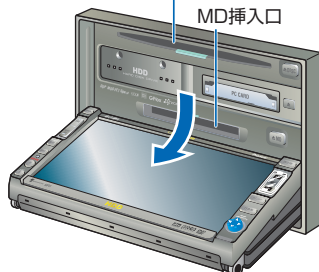


手を挟まないよう注意

ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

DVD/CD/MP3ディスク挿入口

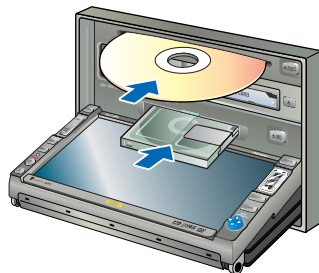
MD挿入口



2

ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてディスクを差し込む

自動的にディスプレイ部が閉じ、再生が始まります。



3

ディスクの状態を表示するとき

は、を押す

映像が切り替わります。

DVDの場合：タイトルNo.やチャプターNo.が表示されます。

CDの場合：内蔵のデータベースから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合や2件以上該当データが存在する場合は、「No Title」と表示されます。

MP3ディスクの場合：ID3 Tagから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3のファイル名とフォルダ名が表示されます。

MDの場合：タイトルが記憶されている場合は、その情報が表示されます。記憶されていない場合は「No Title」と表示されます。


ご注意

ディスクを差し込むときにすでにディスクが入っていないかを、ディスプレイ部が開いた状態のときに表示されるイラストで確認してください。

メモ

- ミュージックサーバーの出荷時のCD録音モードはオートです。再生したCDは、自動的にミュージックサーバーに録音されます。→『オーディオブック』、「CD録音モードを設定する」
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、ミュージックサーバーに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- CDシングル（8cmCD）は、アダプターを付けずに挿入します。
アダプターは絶対に使用しないでください。

4


再生を止めるには、を押す

他のソースに切り替えるか、「OFF」と表示されるまで押し続けてください。

他のソースに切り替えるまたはソースをOFFにしても、CDの自動録音は継続されます。

→『オーディオブック』、「ミュージックサーバーに録音する」

5

ディスクを取り出すには、を押す

ディスプレイ部が開きます。

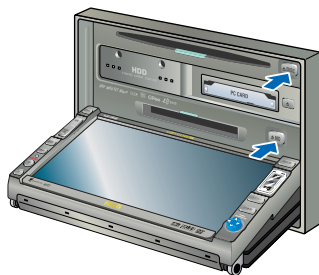
6

△DISC または **△MD** を押す

再生を止めて、ディスクが自動的に押し出されます。

メモ

- ディスプレイが完全に開いた状態で押してください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。
- ディスクをセットしたまま他のソースに切り換えることもできます。ただし、ディスプレイが開いている状態ではソースの切り換えができません。



7

OPEN を押す

ディスプレイ部が閉じます。



手を放さないよう注意

- ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部が完全にオープン/クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合（CDなどを挿入、取り出しボタンを押す）安全のためディスプレイ部がその角度で停止します。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくとお故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

メモ

- ディスプレイ部が完全に開いた状態で車のエンジンスイッチをOFFにすると、「ディスプレイ部が開いています。表示部保護のため、お閉めください」と音声メッセージが流れます。ACCをONにし、**OPEN** を押してディスプレイ部を閉じてください。



DVD状態表示画面の見かた

(ナビゲーション画面表示中にDVDを入れたときの例)



DVD状態表示画面の見かた

メモ

- パーキングブレーキをかけているときは、を押すとDVDの映像を楽しむことができます。走行中は音声のみでお楽しみください。
- 状態表示は、しばらくすると自動的に消えます。再表示させるには、を押します。

■CDやMP3ディスク状態表示画面の見かた

(ナビゲーション画面表示中にCDを入れたときの例)

ソース表示

MP3ファイルが記録されたCD-ROM/R/RW
の場合はMP3と表示されます。

ディスクタイトル表示



トラックタイトル/アーティスト表示
トラックNo.とトラックタイトル、アーティスト名を表示します。





経過時間表示

再生中のトラックの経過時間を表示します。

録音中表示

ミュージックサーバーへの録音状態を表示します。(CDの場合のみ)

メモ

-  を押すと、CDやMP3ディスクの専用画面に切り替えることができます。専用画面ではトラックリストが表示されます。
- ディスクタイトルは、全角16文字(半角32文字)、トラックタイトルは、全角12文字(半角24文字)、アーティスト名は、全角8文字(半角16文字)まで表示されます。
- 録音中の場合は、地図画面の右上に  が表示されます。2倍速録音中は  が表示されます。
- MP3ディスクでは、ディスクタイトル表示/トラックタイトル表示にフォルダ名やファイル名が表示される場合があります。また、アーティスト表示は、表示されないことがあります。
- 状態表示は、しばらくすると自動的に消えます。再表示させるには、 を押しします。

■MD状態表示画面の見かた

(ナビゲーション画面表示中にMDを入れたときの例)

ソース表示

ディスクタイトル表示





トラックタイトル表示

トラックNo.とトラックタイトル
を表示します。

経過時間表示

再生中のトラックの経過時間を表示します。

メモ

-  を押すと、MDの専用画面に切り替えることができます。専用画面ではトラックリストが表示されます。
- ディスクタイトルとトラックタイトルは、全角16文字（半角32文字）まで表示されます。
- 状態表示は、しばらくすると自動的に消えます。再表示させるには、 を押します。

ミュージックサーバーを理解しよう

ミュージックサーバーとは

CDなどを録音して本機内蔵のハードディスクにためておき、いろいろな方法で再生することができる機能です。

ミュージックサーバーには約200枚分*のCDを録音できます。お気に入りのCDを録音しておけば、CDを交換する手間がかからないため、連続再生をお楽しみいただけます。

ミュージックサーバーのおもな機能は以下のとおりです。

録音	CDなどの音源を録音することができます。また、2倍速による録音もできます。
再生	録音された音声を、ヒットチャートプレイなどいろいろな方法で再生することができます。また、PCカード内のMP3ファイルも再生できます。
編集	録音された音声について、曲名などの情報を登録したり、プレイリスト(曲の再生単位)を編集することができます。
検索	録音された音声を、いろいろな方法で検索することができます。
情報表示	録音された音声の登録情報、録音日、再生時間などの詳細情報を表示させることができます。

メモ

- ミュージックサーバーの出荷時のCD録音モードはオートおよび等倍速です。CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーが録音を開始します。→『オーディオブック』、「CD録音モードを設定する」
 - 録音中はソースプレート(状態表示画面→49P)に赤色で **REC** と表示されます。
 - 本機は、内蔵またはインターネットのデータベースを利用して、CDから録音した曲にタイトルやアーティスト名などの情報を自動的に付けます。
 - CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-R、PCカードなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の働きによるものです。
- 各機能の操作方法については『オーディオブック』、「ミュージックサーバー」を参照してください。

*ミュージックサーバーに録音できる枚数はCDによって異なりますので、目安としてお考えください。

ミュージックサーバーに録音する

CDの録音方法は3種類用意されており、工場出荷時は「オート」（自動録音）および等倍速（×1）に設定されています。CDを本機に挿入して再生すると、自動的にミュージックサーバーへの録音が始まります。

メモ

- CDの録音方法は変更できます。
→『オーディオブック』、『CD録音モードを設定する』

オート	CDを再生しながら、自動的にミュージックサーバーに録音します。
マニュアル	CDを再生しながら、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音します。
シングル	CDの1曲目だけを、自動的にミュージックサーバーに録音します。
録音速度	CDの録音速度を等倍速（×1）、2倍速（×2）に設定できます。

- 2倍速録音中はCD音声は聞けません。

録音した曲のタイトルを取得する

タイトルの取得は、ミュージックサーバーによって自動的に行われます。ミュージックサーバーはハードディスクに保存されているCDのデータベースを検索し、タイトル情報が見つかったら、その情報を取得します。情報が複数見つかったとき、または情報が見つからなかったときは、「No Title」と表示されます。

メモ

内蔵のデータベースには、2004年5月までに発売されたCDの情報を登録しておりますが、一部のCDでは登録されていない場合があります。

ミュージックサーバーを再生する

メモ

本機ではPCカード内のMP3ファイルをミュージックサーバーのプレイリストとして再生することができます。

→『オーディオブック』、『基本的なミュージックサーバーの聞きかた』


1 を押して、ソースを「M.S.V」に切り替える

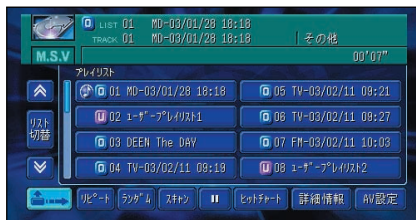
登録されている全プレイリストの再生が始まります。



2 を押して、ソース画面を表示させる

画面上にはミュージックサーバーの状態が表示されます。

プレイリストや曲を選ぶには、画面にタッチするか  を上下左右に倒します。



3 再生を止めるには、 を押す

他のソースに切り替えるか、「OFF」と表示されるまで押し続けてください。

■ミュージックサーバーの状態表示画面の見かた

(ナビゲーション画面表示中にソースをM.S.Vにしたときの例)



ソース表示

プレイリスト表示
プレイリスト種類+プレイリストNo.とプレイリストタイトルを表示します。

トラックタイトル/アーティスト表示
トラックNo.とトラックタイトル、アーティスト名を表示します。

経過時間表示
再生中のトラックの経過時間を表示します。

メモ

- 状態表示は、しばらくすると自動的に消えます。再表示させるには、 を押します。
-  を押すと、ミュージックサーバー専用画面に切り替わります。専用画面ではプレイリストが表示されます。
- プレイリストタイトル、全角16文字（半角32文字）、トラックタイトルは、全角12文字（半角24文字）、アーティスト名は、全角8文字（半角16文字）まで表示されます。

ミュージックサーバーを再生する

Q & A

ミュージックサーバーについての質問を **Q**、回答を **A** として説明させていただきます。

Q 録音の途中でCDの再生をやめたらどうなるの？

A 最後まで再生されない曲は、途中まで録音されていても、ミュージックサーバーから消去されます。次回再生時に録音し直され、最後まで再生されるとミュージックサーバーに保存されます。

Q 同じCDを何回も再生したらどうなるの？

A 同じ曲は録音されません。ソースプレートの **REC** が青色になっているときは、録音されていない曲があることを表しています。

Q CDを順不同に（ランダムに）再生したらどうなるの？

A ミュージックサーバーは録音中の曲がCDの何曲目であるかという情報を取得します。したがって、CDを順不同に再生して録音しても、ミュージックサーバー再生時の曲順はCDに記録されている曲順になります。

Q CDのタイトルや曲名が画面に表示されるのはなぜ？

A ミュージックサーバーはハードディスクに保存されているCDのデータベースを検索し、演奏中のCDのデータが見つかったら、CDのタイトルや曲名などを画面に表示します。

Q 情報が見つからなかったときは？

A 情報が見つからなかったときは、『オーディオブック』、「タイトル情報を取得する（タイトルサーチ）」を参照して操作してください。まずハードディスクに保存されているCDのデータベースを検索し、情報が複数なのか確認します。それでも見つからない場合はインターネットから探します。

Q ミュージックサーバーはCD専用なの？

A テレビ、ラジオ、MDなどの音声を録音することができます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。
再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」（65P）を参照してください。

音声操作を覚えよう

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、ナビゲーションを操作したり、携帯電話をハンズフリーで操作することができます。

→『ナビゲーションブック』、「音声操作」

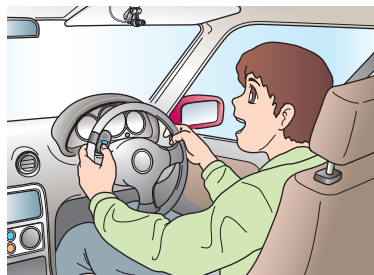
音声操作の基本

音声操作上の注意点

音声操作を行うには、発話を正しく認識させる必要があります。

以下の点にご注意ください。

- 車の窓は閉めておく
- エアコンの風量を下げる
- マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける
- はっきりと明瞭に発話する
- 音声認識語を正しく発話する
- 音声案内中は発話しない



メモ

- 行き先・場所メニュー/情報・通信メニュー/編集・設定メニューなど、ナビゲーションのメニューを表示しているときは、音声操作を受け付けません。
- 「音声認識話者学習」により使用者の発声の特徴を学習させると、音声の認識率が向上します。音声操作をご使用になる前に、発声の特徴を学習させることをおすすめします。
→『ナビゲーションブック』、「発声の特長を学習する」

発話するタイミング

“ピッ”と音が鳴って画面左下のキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢（首をかしげていない状態）のときは、**操作** または **場所** を押すと、首をかしげて発話できる状態になります。

この状態のとき発話してください。



この状態のときは、発話しても認識されません。



音声で操作する

音声による操作は、ボタンやタッチキーの代わりに音声を使うこと以外は、通常のメニュー操作と同じ要領です。

地図に関する基本操作、場所の検索、ルート探索、VICS情報の確認、オーディオ操作、電話をかける操作などができます。

1

操作 または 場所 を押す

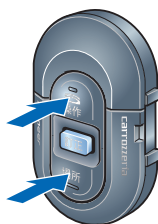
音声で操作できる状態になります。

操作 ナビゲーション操作、オーディオ操作などをするとき

場所 場所を探すとき

メモ

パーキングブレーキをかけているときは、発話できる音声認識語が表示されます。



2

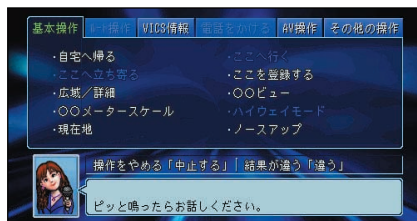
音声認識語を発話する

発話内容が認識されると、応答メッセージが表示されます。

本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

メモ

訂正 を押すと直前の音声操作を取り消し、前の画面に戻ります。



音声で操作する

3

必要に応じて他の音声認識語を発話する

指定した操作が実行されます。



PCカードの入れかた、出しかた

本機では、PCMCIAタイプIIのATAフラッシュカード「CNFC-16M」(別売)などが使用できます。

PCカードを使用すると、MP3ファイルを再生したり、デジタルカメラで撮影した画像を地図上に表示したり、登録地のデータなどを保存しておくことができます。

メモ

- 本機に使用するPCカードは、FATまたはFAT32でフォーマットされている必要があります。NTFSなどでフォーマットされているPCカードは使用できません。
- PCカードは、本機のディスプレイが開いているときは、電源のON/OFF(エンジンのON/OFF)にかかわらず、挿入・取り出しができます。
- PCカードにたくさんのファイルが保存されていると、動作が始まるまで時間がかかることがあります。

PCカードの入れかた

1

OPEN を押す

ディスプレイ部が開きます。



手を挟まれないよう注意

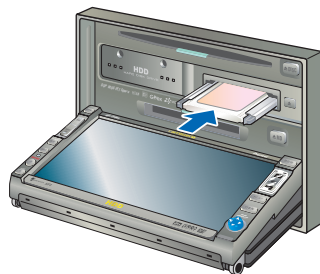
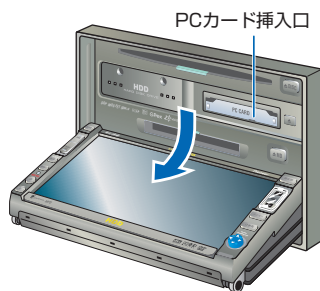
ディスプレイを開け閉めするときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2

PCカード挿入口にPCカードを差し込む

メモ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。
- PCカード取り出しボタンが前に出るまでしっかりと差し込んでください。




PCカードの入れかた

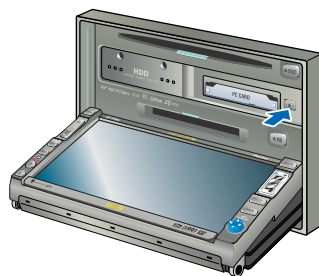
PCカードが正しくセットされると、本機のディスプレイ部が開いた状態で電源がONになっている場合は画面にPCカードのイラストが表示されます。

つづく→

- 3** PCカードが奥まで差し込まれたことを確認してから、もう一度 **OPEN** を押す
ディスプレイ部が閉じ、「PCカードが使えるようになりました。」とメッセージが表示されます。

PCカードの出しかた

- 1** **OPEN** を押す
ディスプレイ部が開きます。
- 2** PCカード取り出しボタン  を押す
PCカードが出てきます。



- 3** PCカード挿入口から取り出したあと、もう一度 **OPEN** を押す
ディスプレイ部が閉じます。
取り出したPCカードは、ケースに入れて保管してください。

ご注意

- PCMCIAタイプII (5V) 以外のPCカードは使用できません。規格の異なるPCカードを差し込むと、PCカード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- PCカードスロットに装着可能な記録媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間PCカードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますのでご注意ください。
- 専用のドライバソフトウェアが必要なPCカードは使用できません。
- ハードディスク内蔵のPCカードは使用しないでください。故障の原因となります。

リセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ご注意

本機は、リセットボタンを押すとディスプレイの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

- MSV、CD、MP3、MDの前回再生のトラックはクリアされます。
- TV、FM/AMのプリセットもクリアされます。
- AV設定もクリアされます。

1

ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す



メモ

本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲：-10度～+50度

保存温度範囲：-20度～+80度

- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

- 本機を使用していないときは、ディスプレイ部を閉じた状態にしてください。
- ディスプレイ部の角度調節や開閉を手動で行ったりしないでください。ディスプレイ部に強い力が加わると故障することがあります。
- ディスプレイ部の角度調節や開閉をするときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、ディスプレイ部が動かなくなることがあります。ディスプレイ部が動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いて **OPEN** ボタンを押してください。

液晶画面について

- TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）がでることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。

- 蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなる場合があります）
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

- 画面に付いたホコリやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- 画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

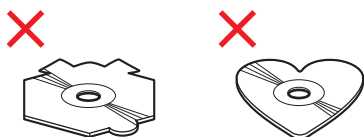
ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そのりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。

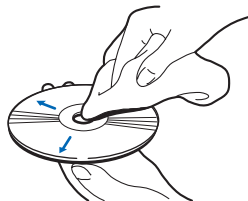


メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

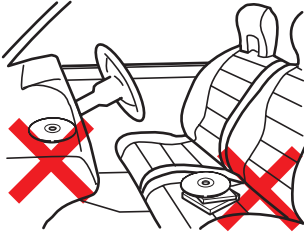


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなる場合があります)
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができません。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

- 下記マークの付いているMD（ミニディスク）をご使用ください。



- 長時間録音されているMDも再生できます。
- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

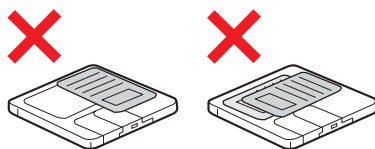
取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

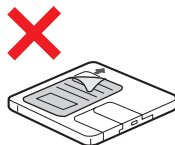


ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

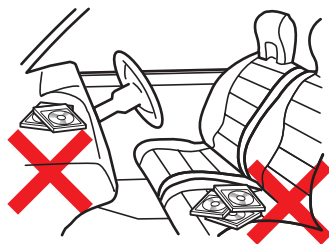


- ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取りだせなくなります。このようなMDは新しいラベルに張り替えてからお使いください。



保管上のご注意

- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



お手入れについて

- MDカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。






- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒータを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間	
DVDビデオ  	DVDビデオ	(MPEG 2方式)	
	12cm/片面	1層	133分
		2層	242分
	12cm/両面	1層	266分
		2層	484分
	DVDビデオ	(MPEG 2方式)	
8cm/片面	1層	41分	
	2層	75分	
	8cm/両面	1層	82分
		2層	150分
CD 	CD	74分	
	12cm/片面		
	CDシングル 8cm/片面	20分	

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、上図に記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。

- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク（追記可能なディスク）は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください）
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DD CD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- CCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。








DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

※本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比：横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

再生できるMP3ファイルについて

●本機はMP3ファイルのCD-ROM（モード1のみ）、またはCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクが再生可能です。

メモ

- MP3ファイルに名前を付けるときは、半角で拡張子（.mp3）を付けてください。
例：01abcdef.mp3

- ファイル名は、拡張子（.mp3）を含めて半角で255文字（全角で127文字）以内にしてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けしないでください。**
- ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1、Ver.2.Xのalbum（ディスクタイトルとして表示）、track（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）の表示に対応しています。
- 44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。

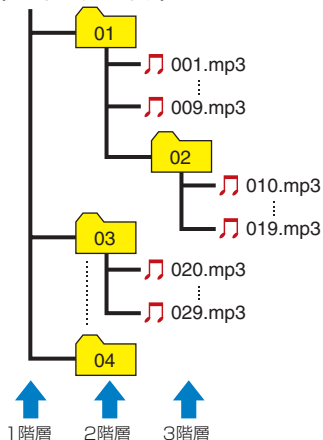
メモ

- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- VBR（可変ビットレート）のMP3ファイルには対応していません。

■フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルがCD-ROMに収録されているイメージを下図に示します。

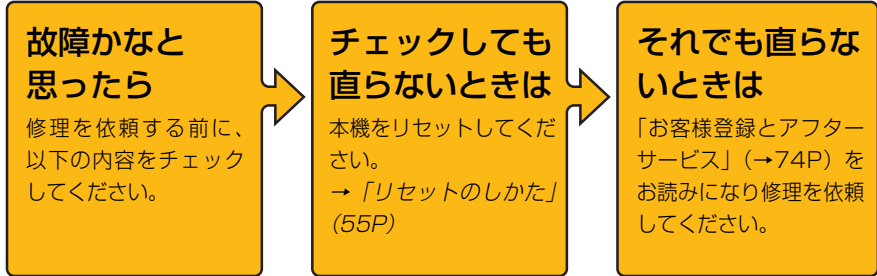
(ルートディレクトリ)



メモ

- MP3ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番（001.mp3、…、009.mp3、…）で認識されます。
- MP3ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみ再生はできます。
- 8階層（ルートディレクトリ含む）までのMP3ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよびPCカードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ディスクに含まれるフォルダは256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。PCカード内のMP3ファイルは99個まで再生できます。
- PCカード内のMP3ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

故障かなと思ったら



共通項目

■電源が入らない、動作しない

原因	処置
各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。→『取付説明書』
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →『リセットのしかた』(55P)

■エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がる

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

■映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。
パーキングブレーキをかけていない。	→『取付説明書』

■音が出ない

原因	処置
接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』
音量が0になっている。	音量を上げてください。 5.1ch DSPユニットと組み合わせているときは、5.1ch DSPユニットの音量を上げてください。
入出力設定メニューの [5.1ch DSPユニット] の設定が間違っている。	取付説明書をお読みになり、正しく設定してください。
ガイド音声用スピーカーを接続していない。	5.1ch DSPユニットと組み合わせているときは、ガイド音声用スピーカー「CD-TS36G」を接続してください。

■音が小さい

原因	処置
音量を下げている。	音量を上げてください。

■音や映像がとぶ

原因	処置
本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。 →『取付説明書』

■液晶画面が暗い

原因	処置
明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。 →『オーディobook』「画質調整」
車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなる場合がありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。

ナビゲーション

■ 自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。 ワイパーなど、電波をさえぎる物があるときは、GPSアンテナの位置を変えてください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。 車内に取り付けられている場合は、必ず金属シートを使用してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 →『取付説明書』
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。→『取付説明書』

DVD

■ 再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(58P)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」(62P)
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。

CD

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(58P)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」(62P)
2倍速で録音している。	録音を停止し、録音速度を等倍速録音にしてください。 →「オーディオブック」[録音速度を設定する]

MD

■再生できない

原因	処置
MDが汚れている。	MDを交換してください。
MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。 →「DVD/CD/MP3ディスク/MDの基本操作を覚えよう」(40P)

MP3ディスク

■MP3ファイルを再生できない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録したディスクに交換してください。
256kbpsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。

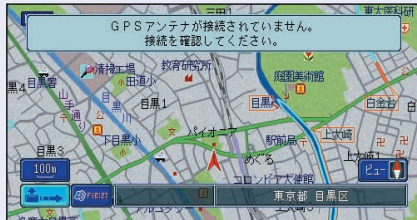
ミュージックサーバー

■プレイリストが再生できない

原因	処置
プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 → 『オーディオブック』、「再生しないプレイリストを設定する」
ポーズ（一時停止）がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 → 『オーディオブック』、「再生を一時停止する（ポーズ）」

3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

■ 停車中のエラーメッセージ

- **[振動を検知しました。本体の取付け状態を変更してください。]**
『取付説明書』を参照して、本機を取付ける位置を変えてください。

■ 走行開始後のエラーメッセージ

- **[車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。決定にタッチしてください。]**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）を接続してください。正しく接続した後、「学習状態」のリセットを行い、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。
- **[本体の向きが間違っています。取付けを確認してください。]**
『取付説明書』を参照して、本機を取付ける方向を変えてください。
- **[車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。]**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線（車速信号入力）の接続が間違っていないか確認してください。

■ その他のエラーメッセージ

- [内蔵のセンサが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]
内蔵のセンサの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

- [ハードウェアに異常が発生し、測位不能になりました。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]
ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

- [GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]
- [GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
GPSアンテナの接続を確認してください。
正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

- [車速信号線が外れました。接続を確認してください。]
ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認してください。

- [本体の取付け角度が許容範囲外です。取付角度を確認してください。]
『取付説明書』を参照して、取付け角度が間違っていないか確認してください。取付け角度が正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

- [本体取付け位置の変化を検出しました。センサの再学習を開始しますか？]
本機の取付け位置の変化を自動で検出した事をお知らせするメッセージです。

お客様登録とアフターサービス

お客様登録 について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」の返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではございますが必ず登録手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

登録方法

①「保証書発行兼お客様登録カード」の返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社まで返送してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

② インターネットによるご登録

弊社ご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様カード③」を一緒に提示していただきますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

■保証書のお届について

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。

保証書のお届けには3週間ほどかかります。

ご登録いただけない場合は、保証書の発行ができません。

■保証書お届までに故障が発生した場合

保証書発行兼お客様登録カードお客様控②は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

■インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証書発行 について

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の
修理について

万一、故障が生じたときは、次ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の
修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の
最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)


ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更がございましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

 0070-800-8181-11 (フリーフォン)

TEL 03-5496-8016 (一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行えますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
 - * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報
について

当社はお客さま個人の情報につきまして、安全対策を実施し厳重な管理を行っております。

仕様

◆ナビゲーション本体 (GPS部)

方式: L1、C/AコードGPS
SPSスタンダード・
ポジショニング・
サービス

受信方式: 12チャンネルマルチ
チャンネル受信方式

受信周波数: 1,575.42 MHz

感度: -130 dbm

測位更新時間: 約1回/1秒

ハイパスフィルター

カットオフ周波数: 50/63/80/100
/125 Hz

カットオフスロープ: -12 dB/oct

サブウーファー出力

カットオフ周波数: 50/63/80/100
/125 Hz

カットオフスロープ: -18 dB/oct

調整幅: -24~+6 dB

位相: NOR/REV

◆共通部

最大消費電流: 15 A

使用電圧: DC 14.4 V (10.8
~15.1 V使用可能)

アース方式: マイナスアース方式

◆アンプ・オーディオ部

最大出力: 50 W×4

定格出力: 22 W×4

負荷インピーダンス: 4 Ω (4~8 Ω使用
可能)

プリアウト

最大出力レベル: 2.2 V

出力インピーダンス: 1 kΩ

ラウドネスコンター: 10 dB (100 Hz)、
6 dB (10 kHz)

イコライザー

(13バンド) 周波数: 50Hz、80Hz、
125Hz、200 Hz、
315Hz、500Hz、
800 Hz、1.25kHz、
2 kHz、3.15 kHz、
5 kHz、8 kHz、
12.5 kHz

調整幅: ±6 dB

◆DVDプレーヤーメカ部

形式: DVD-VIDEO、CDシ
ステム

リージョンNo.: 2

対応ディスク: DVD-VIDEO、DVD-
R (video mode)、
/RW (video mode)、
CD-ROM、CD-DA、
CD-R/RW

信号フォーマット

サンプリング周波数

(DVD値): 48/96 kHz

(CD値): 44.1 kHz

量子化ビット

(DVD値): 16/20/24 bit直線

(CD値): 16ビット直線

映像出力レベル: 1 Vp-p/75Ω(白
100%出力)

周波数特性 (DVD値): 8 Hz~44 kHz (±1
dB)

(CD値): 20 Hz~20 kHz
(±0.1/-0.3 dB)

S/N (DVD値): 97 dB (1 kHz)
(IHF-A network)

(CD値): 96 dB (1 kHz)
(IHF-A network)

ダイナミックレンジ

(DVD値) : 95 dB (1 kHz)
(IEC-A curve/20 kHz LPF)

(CD値) : 94 dB (1 kHz)
(IEC-A curve/20 kHz LPF)

高調波歪率 : 0.008% (1 kHz)
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

◆MD部

形式 : ミニディスクデジタル
オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク

信号フォーマット

サンプリング周波数 : 44.1 kHz

量子化ビット数 : 16ビット直線

周波数特性 : 20~20 kHz (±2 dB)

S/N : 88 dB以上 (1 kHz)
IHF-Aネットワーク
スピーカOUT)

ダイナミックレンジ : 80 dB以上 (1 kHz)
IHF-Aネットワーク
スピーカOUT)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

◆FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1~89.9 MHz

実用感度 : 9 dBf
(0.8 μ V/75 Ω)
モノラルS/N 30 dB

50dB感度 : 14 dBf
S/N : 70 dB以上 (IHF-A
ネットワーク)

高調波歪率 : 0.3%
周波数特性 : 30~15,000 Hz
(±3 dB)

ステレオセパレーション : 40 dB以上 (65 dBf
入力、1 kHz)

◆AMチューナー部

受信周波数帯域 : 522~1629 kHz
(9 kHz)

実用感度 : 22.5 μ V
(S/N 20 dB)

実行選択度 : 50 dB以上
(±9 kHz)

◆TVチューナー部

受信チャンネル : VHF1~12 ch /
UHF13~62 ch

実用感度 : 6 dB μ (75 Ω 、
モノラル音声)

映像S/N : 40 dB以上 (59 dB
 μ 入力、白100%)

映像雑音制限感度 : 40 dB μ

クロストーク : 主→副 35 dB以上、
副→主 40 dB以上

S/N : 60 dB
(IHF-Aネットワーク)

ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)

外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75 Ω

外部音声最大入力レベル : 1.5 V/22k Ω

アンテナ入力 : 4chダイバシティ

◆TVモニタ

画面サイズ : 6.5インチワイド
(表示エリア寸法 :
79.1×146.7 mm)

画素数 : 336,960画素
(234×1440)

方式 : TFTアクティブマト
リクス方式、透過型

エッジライト : 冷陰極L字管

使用温度範囲 : -10~+50 $^{\circ}$ C

保存温度範囲 : -20~+80 $^{\circ}$ C

スライド角度

調整ステップ数 : 7段階

タッチパネル : 抵抗感圧式アナログ
タイプ
(フィルム+ガラス)

◆GPSアンテナ

アンテナ : マイクロストリップ
平面アンテナ/右円偏波

アンテナケーブル長 : 5 m

◆フィルムアンテナ

出力端子：φ3.5ミニプラグ×4
アンテナケーブル長：L側3.0 m、R側5.5 m、電源5.5 m

◆外形寸法

取付寸法：178 (W) × 100 (H) × 165 (D) mm

ノーズ寸法：170 (W) × 93 (H) × 13 (D) mm

GPSアンテナ：34 (W) × 36 (H) × 13 (D) mm

音声認識コントローラー：34 (W) × 56 (H) × 16 (D) mm

フィルムアンテナ：104 (W) × 362 (H) × 0.4 (D) mm (セパレーター含む)

フィルムアンテナ
ブースターアンプ：40 (W) × 20 (H) × 9 (D) mm

フィルムアンテナ
電源ユニット：61 (W) × 44 (H) × 26 (D) mm

◆質量

本体：3.3 kg

GPSアンテナ：105 g (コード含む)

フィルムアンテナ：290 g (フィルム、ケーブル、ブースターアンプ部含む)

フィルムアンテナ
電源ユニット：122 g

音声認識コントローラー：20 g (電池含む)

◆付属品

コード類：1式※1

音声認識コントローラー：1

リチウム電池 (CR2032)：1

マイク：1

スタートブック：1

ナビゲーションブック：1

オーディオブック：1

取付説明書：1

安全上のご注意：1

保証書発行兼

お客様登録カード：1

ご相談窓口・修理窓口

のご案内：1

VICSサービス契約約款：1

※『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

メモ

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口
： ☎ **0070-800-8181-11**
： 【一般電話】 **03-5496-8016**
- ファックス受付
： **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受付センターへお問い合わせください。

部品受付センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

- 電話
： ☎ **0120-5-81095**
： 【一般電話】 **0538-43-1161**
- ファックス
： ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

- 電話
： ☎ **0120-5-81028**
： 【一般電話】 **03-5496-2023**
- ファックス
： ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

- 電話
： 【一般電話】 **098-879-1910**
- ファックス
： **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2004

< KAMFF > < 05A00000 > < CRA3746-A >